

ファクトシート：福島県二本松市における除染土再利用実証事業

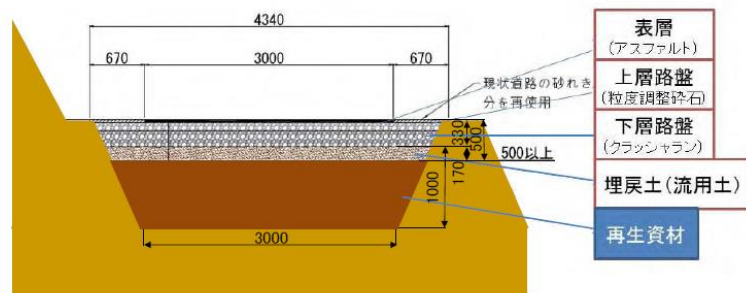
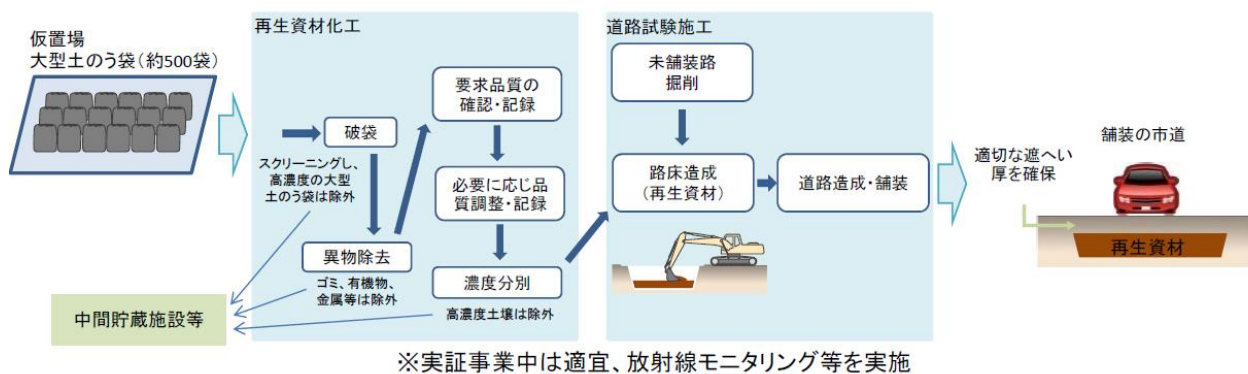
【背景】

環境省は、推定 2,200 万 m³ の除染土の全量を最終処分するのは困難とし、そのうち 8,000 ベクレル/kg 以下の除染土を飛散防止・覆土などをした上で公共事業や農地造成などで再利用を行う方針を策定。現在、実証事業を行っている。

【概要】

福島県二本松市で実施予定であった近隣の除染土を農道の路床材に使う実証事業が、市民の反対によって実質撤回となった。

二本松市原セオ木地区で約 200 メートルの農道を掘削し、近くの仮置き場に積まれた除染土 500 袋を、袋から出して路床材として埋め、50cm 程度の覆土を行うというもの。放射線モニタリング、飛散・流出の防止等の環境対策を実施し、一定期間モニタリングする予定であった。



環境省「中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利用技術開発戦略検討会」
(2018年3月29日) 資料より

【契約】¹ 委託先：除染・減容事業協同組合（のちに契約解除に）金額：3億5,208万円

【経緯】²

- 2016年11月 環境省が二本松市における実証事業実施の可能性を聴取
- 2017年2月 地元行政区から実証事業について「了承」→ 二本松市と環境省で事業内容の検討
 - 10月6日 地元行政区説明会において実証事業について了承
 - 12月5日 二本松市議会議員協議会において事業概要を説明
 - 12月27日 周辺行政区に事業概要を回覧（全39班、計341世帯）
- 2018年2月 二本松市における実証事業の企画競争公示 3月29日契約

¹ 福島地方環境事務所 調達情報 <http://fukushima.env.go.jp/procure/upload/18-1000074220.pdf>

² 環境省 「中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利用技術開発戦略検討会」資料および2018年9月1日付「みんなの会」事務局作成資料をもとに作成

- 2018年2月20日 地元市民団体（東日本大震災・原発事故救援・復興二本松市民共同センター）が環境省福島県事務所に実証事業の白紙撤回を求める要請と質問を提出
- 3月 地元市民団体（「共同センター」「みんなで作る二本松・市政の会」）が、まさのあつこ氏を講師とした勉強会を開催
- 4月16日 地元市民団体が「STOP！汚染土再利用」のぼり旗設置
チラシ2万枚を市内全域各戸に配布
- 4月18日 環境省 原セ行政区説明会
- 4月26日 岳下住民センターにて環境省が原セ・永田区長会の要請で事業説明会開催
- 5月 近隣で生産された家畜用発酵飼料の取引をキャンセルする動き＝実害の発生状況も明らかに
- 5月21日 地元市民団体が実証事業の撤回を求める署名を環境省に提出
- 6月11日 FoE Japan が、除染土再利用方針の撤回を求める署名を環境省に提出。環境省交渉に地元市民団体からも参加
- 6月25日 環境省、二本松市長に対して「複数回の説明会において、風評被害への懸念など多数のご意見をいただいたことを踏まえ…請負業者との 契約解除に向け調整することとしたい」と説明。実質撤回の意向表明。翌日、同様のお知らせを配布。
- 9月1日 「共同センター」「みんなの会」除染土利用撤回に関する報告集会開催

【住民があげた問題点】³

・原セ才木地区の21戸の中で9戸しか参加していない中で、説明会が開催され、「地元了解」ということにされてしまった。

・透明性がなかった。場所が選定された経緯も不明。

・いまある除染土の仮置き場は、地元住民のたいへんな葛藤の中で決まった。“中間貯蔵施設に運ぶ”という約束であった。実証事業は、最終処分地になってしまう。約束違反になる。

・実証事業は、800億円をかけて除染した土を、また3億5,000万円かけてもとに戻すもので合理性がない。同じ距離の農道を舗装するのならば100メートル当たり260万円ですむ。

・周辺は農地。農道の脇には水も流れている。放射性物質の拡散が心配。

・除染土を全量をはかるわけではない。袋の表面の汚染密度だけである。モニタリングとしても不足。

・このような実証事業により、全国展開することは問題である。



写真上 実証事業が予定されていた農道

2018年7月27日 撮影 FoE Japan

【主な参考資料】

FoE Japan 「市民の力で、＜汚染土再利用実証事業＞を撃退！～二本松より」（2018年9月2日）

<https://foejapan.wordpress.com/2018/09/02/0102/>

みんなで作る二本松・市政の会事務局「ふるさとを汚染土で汚すな！環境省「放射性汚染土壌再生利用」実証事業に待った 広がった市民の声と運動でストップに」（2018年9月1日）

環境省「除去土壌再生利用実証事業について」（2018年3月29日）

http://josen.env.go.jp/chukanchozou/facility/effort/investigative_commission/pdf/proceedings_180329_03.pdf

³ 2018年9月1日集会報告および住民との会合より作成